

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年09月24日

計画の名称	十勝港における安全で利便性の高い港湾環境の形成（防災・安全）									
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当	
交付対象	広尾町									
計画の目標	適切な港湾利用を目的とした港湾施設の改良を行い、港湾利用の安全性と効率性の向上を図る。									
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	201	A	201	B	0	C	0	D	0
効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）										0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R03当初	R05末	R07末
1	港湾施設の改良を行うことで、安全で効率的に利用できる 安全に係留できる岸壁の増加率 （整備前）安全係留が確保されていない岸壁 L=2,066m （整備後）安全係留が確保された岸壁 L=2,066m	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	☐	連携中枢都市圏を含む	☐	流域水循環計画を含む	☐	地域再生計画を含む	☐
「広尾町強靱化計画」に基づき実施される要素事業：A02-001、A02-002、A02-003												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	北海 道	広尾町	直接	広尾町	重要	改良	岸壁(-13m)（改良）	埠頭保安設備改良 1式	十勝港・内港地 区					■	24		未策定
	A02-002	港湾	北海 道	広尾町	直接	広尾町	重要	改良	岸壁(-13m)（改良）等	整備延長 L=2,066m	十勝港・内港地 区	■	■	■	■	■	141		策定済
	A02-003	港湾	北海 道	広尾町	直接	広尾町	重要	改良	道路（改良）	整備延長 L=2,529m	十勝港・内港地 区	■	■	■			36		策定済
											小計						201		
											合計						201		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

広尾町港湾課において実施

事後評価の実施時期

令和8年9月

公表の方法

広尾町ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

安全に係留できる岸壁が増加し、岸壁に係留する船舶の安全が確保された。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

安心・安全な港湾環境の形成を目指すことを目標に、老朽化が著しい既存港湾施設の計画的な改良を実施していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	安全係留が確保された岸壁の延長L=2, 066m		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

参考図面（防災・安全交付金）

